



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 N E C キャピタルソリューション株式会社

コード番号 8793 URL <https://www.necap.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅沼 正明

問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション部長 (氏名) 是枝 孝彰

(TEL) 03(6720)8400

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	206,976	9.2	7,103	10.9	8,625	4.3	6,728	13.4
2025年3月期第3四半期	189,538	1.1	6,405	△11.7	8,268	19.5	5,932	69.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 6,572百万円(△0.1%) 2025年3月期第3四半期 6,577百万円(9.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	312.33	—
2025年3月期第3四半期	275.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	1,238,647		147,845		10.1	
2025年3月期	1,224,797		142,385		9.9	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 125,273百万円 2025年3月期 121,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 75.00	円 銭 —	円 銭 75.00	円 銭 150.00
2026年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
2026年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
通期	295,000	15.7	15,500	99.2	16,000	69.5	10,000	51.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 5社 (社名) リサRT債権回収株式会社、リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド6号
投資事業有限責任組合、匿名組合低圧セカンダリー太陽光、帯広事業承継ファンード1号投資事業有限責任組合、株式会社R-ファンド9号

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	21,549,427株	2025年3月期	21,544,538株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	4,596株	2025年3月期	4,596株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	21,543,201株	2025年3月期 3Q	21,538,186株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

- ・四半期決算短信補足説明資料は、当社ホームページで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(追加情報)	9
3. その他	10
(1) セグメント別の状況	10
(2) 営業資産残高	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、春闇における高水準の賃上げや雇用環境の改善、設備投資の底堅さなどを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、エネルギー・原材料価格の上昇による物価高の影響が続き、企業においてはコスト負担の増加や人手不足の深刻化が経営上の制約要因となりました。

また、米国経済の減速懸念や中国経済の回復の鈍さといった海外経済の先行き不透明感に加え、地政学リスクの長期化による国際情勢の不安定さもあり、企業を取り巻く経営環境は総じて不透明な状況が続きました。さらに、金融政策の正常化に伴う金利水準の上昇や為替相場の変動など、金融市場の動向についても引き続き注視が必要な環境となっています。

こうした状況を踏まえ、当社グループでは経済環境の変化を注視しつつ、柔軟かつ機動的な事業運営を継続しております。

当社グループが属するリース業界における2025年12月累計のリース取扱高は、前年同期比1.6%増の3兆6,430億円となりました。（出典：公益社団法人リース事業協会「リース統計」）

リース事業では、契約実行高が前年同期比16.0%増、成約高が同37.9%増となりました。増加の主な要因は、「GIGAスクール構想第2期」におけるICT機器案件の獲得に加え、官公庁を中心とした大型案件獲得が順調に推移したことによるものです。

一方、ファイナンス事業では、契約実行高・成約高ともに前年同期を下回りました。企業融資は増加したもの、ファクタリング取引の減少が影響しました。

インベストメント事業では、リサ・パートナーズによる国内外投融資案件からの金利収入および配当収入が増加し、売上高・売上総利益ともに前年同期を上回りました。

その他の事業では、販売用不動産の売却益などにより、前年同期比で増収増益となりました。

経営成績全体としては、売上高、売上総利益の増加により人件費等の増加を吸収し、営業利益、経常利益、当期純利益共に前年同期を上回りました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,069億76百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益71億3百万円（同10.9%増）、経常利益86億25百万円（同4.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益67億28百万円（同13.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①リース事業

売上高は、前年同期比4.6%増の1,784億59百万円となりました。また、営業利益についても資金原価の増加を吸収して売上総利益が増加したこと等により、前年同期比14億36百万円増加の48億53百万円となりました。

②ファイナンス事業

売上高は、フィー収入の増加等により前年同期比2.0%増の60億15百万円となったものの、営業利益は貸倒引当金繰入額の増加等により、前年同期比11億73百万円減少の10億74百万円となりました。

③インベストメント事業

売上高は、前期の大型販売用不動産の売却の反動はあるものの、当期は大型の営業投資有価証券の売却等が寄与し、前年同期比39.1%増の144億9百万円となりました。営業利益は、人件費の増加等により、前年同期比47百万円減少の22億2百万円となりました。

④その他の事業

売上高は、販売用不動産の売却や不動産の賃貸収入の増加等から、前年同期比190.3%増の81億74百万円となり、営業利益についても前年同期比5億32百万円増加の6億55百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて138億49百万円増加し、1兆2,386億47百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金が733億37百万円減少したものの、買取債権が253億48百万円、販売用不動産が168億23百万円、リース債権及びリース投資資産が161億58百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて83億88百万円増加し、1兆908億1百万円となりました。主な要因としては、短期借入金が388億1百万円減少したものの、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が407億90百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて54億60百万円増加し、1,478億45百万円となりました。主な要因としては、利益剰余金が当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益等により34億63百万円、非支配株主持分が11億89百万円、繰延ヘッジ損益が10億15百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月30日に公表した2026年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	110,298	36,960
割賦債権	31,602	29,822
リース債権及びリース投資資産	512,090	528,248
貸倒料等未収入金	25,560	29,892
営業貸付金	220,537	227,820
買取債権	10,709	36,057
営業投資有価証券	26,556	30,961
販売用不動産	51,005	67,828
仕掛販売用不動産	4,211	5,551
有価証券	546	546
その他	17,420	14,744
貸倒引当金	△8,235	△8,301
流動資産合計	1,002,303	1,000,133
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	99,461	102,779
その他の営業資産	10,646	10,904
社用資産	433	625
有形固定資産合計	110,542	114,308
無形固定資産		
賃貸資産	768	551
のれん	1,304	1,194
その他	10,893	11,391
無形固定資産合計	12,966	13,137
投資その他の資産		
投資有価証券	85,090	92,592
その他	18,386	23,115
貸倒引当金	△4,491	△4,641
投資その他の資産合計	98,985	111,067
固定資産合計	222,494	238,514
資産合計	1,224,797	1,238,647

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	166	—
買掛金	13,113	18,532
短期借入金	88,520	49,718
1年内返済予定の長期借入金	151,367	140,720
1年内償還予定の社債	20,000	25,600
コマーシャル・ペーパー	266,000	237,000
債権流動化に伴う支払債務	420	245
未払法人税等	1,443	3,354
賞与引当金	926	1,771
役員賞与引当金	44	11
債務保証損失引当金	—	63
その他	29,746	36,756
流動負債合計	571,751	513,775
固定負債		
社債	93,600	107,500
長期借入金	402,613	454,050
債権流動化に伴う長期支払債務	1,794	1,644
退職給付に係る負債	1,885	1,867
その他	10,767	11,963
固定負債合計	510,661	577,025
負債合計	1,082,412	1,090,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,794	3,794
資本剰余金	4,665	4,680
利益剰余金	104,788	108,251
自己株式	△10	△10
株主資本合計	113,237	116,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,685	2,054
繰延ヘッジ損益	2,179	3,194
為替換算調整勘定	3,981	3,329
退職給付に係る調整累計額	△80	△20
その他の包括利益累計額合計	7,764	8,557
非支配株主持分	21,382	22,572
純資産合計	142,385	147,845
負債純資産合計	1,224,797	1,238,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	189,538	206,976
売上原価	167,353	181,779
売上総利益	22,184	25,196
販売費及び一般管理費	15,778	18,092
営業利益	6,405	7,103
営業外収益		
受取利息	28	41
受取配当金	52	48
持分法による投資利益	251	—
投資事業組合等投資利益	733	535
為替差益	951	942
その他	213	387
営業外収益合計	2,231	1,956
営業外費用		
支払利息	246	99
持分法による投資損失	—	4
投資事業組合等投資損失	107	315
その他	14	16
営業外費用合計	368	435
経常利益	8,268	8,625
特別利益		
負ののれん発生益	—	257
補助金収入	—	100
関係会社株式売却益	16	52
特別利益合計	16	409
特別損失		
債務保証損失	—	379
固定資産圧縮損	—	100
関係会社整理損	477	—
関係会社社債譲渡損	50	—
関係会社株式売却損	16	—
特別損失合計	544	479
税金等調整前四半期純利益	7,740	8,554
法人税、住民税及び事業税	1,227	4,548
法人税等調整額	897	△1,773
法人税等合計	2,125	2,775
四半期純利益	5,615	5,779
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△316	△948
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,932	6,728

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	5,615	5,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	224	739
繰延ヘッジ損益	685	939
為替換算調整勘定	323	△551
退職給付に係る調整額	△47	59
持分法適用会社に対する持分相当額	△223	△394
その他の包括利益合計	962	792
四半期包括利益	6,577	6,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,894	7,521
非支配株主に係る四半期包括利益	△316	△948

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	リース 事業	ファイナン ス事業	インベスト メント事業	その他の 事業	計		
売上高	170,550	5,896	10,362	2,815	189,624	△86	189,538
セグメント利益	3,417	2,248	2,249	123	8,038	△1,632	6,405

(注) 売上高の調整額△86百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益の調整額△1,632百万円は、セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	リース 事業	ファイナン ス事業	インベスト メント事業	その他の 事業	計		
売上高	178,459	6,015	14,409	8,174	207,059	△82	206,976
セグメント利益	4,853	1,074	2,202	655	8,786	△1,682	7,103

(注) 売上高の調整額△82百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益の調整額△1,682百万円は、セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「インベストメント事業」において、当社連結子会社である株式会社リサ・パートナーズによるリサRT債権回収株式会社他7社の連結子会社化に伴い発生した負ののれん発生益257百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	16,543百万円	18,014百万円
のれんの償却額	155百万円	151百万円

(追加情報)

(リサRT債権回収株式会社の株式売却)

当社は、2025年12月26日開催の取締役会において、当社連結子会社であるリサRT債権回収株式会社（以下、「リサRT債権回収」という。）の全株式をSBIアルヒ株式会社（以下、「SBIアルヒ」という。）に売却することを決議し、同日付けで株式譲渡契約を締結しております。

(1) 株式売却の理由

当社連結子会社である株式会社リサ・パートナーズ（以下、「リサ・パートナーズ」という。）は、2025年7月1日付でリサRT債権回収を子会社化し、経営統合の一環として、事業基盤の強化および機能統合に取り組んでまいりました。

リサRT債権回収においては、受託ビジネスを今後の成長領域かつコア事業と位置づけ、成長機会の創出およびAUM（受託資産残高）の拡大を目指し、モーゲージバンク事業を中心とするSBIアルヒとの業務提携等の可能性について協議を進めてまいりました。

これらの協議の結果、今後、SBIアルヒがリサRT債権回収の全株式を取得し、同社グループにおいて、住宅ローンをはじめとする住宅金融における「融資実行」「審査・保証」に加え、「債権管理回収」の機能を同社グループ内で一貫して担う体制を構築することが望ましいとの認識に至り、この認識のもと、関係当事者間で協議を重ねた結果、本株式譲渡について合意するに至ったものであります。

また、リサ・パートナーズとリサRT債権回収の経営統合の過程において、リサRT債権回収が保有する買取債権および販売用不動産をはじめとする投融資資産について、リサ・パートナーズへの移管（同社への売却）を進めており、今回の株式譲渡は、リサRT債権回収が展開する事業のうち、住宅ローンサービス事業を対象としたものであり、その他の事業については、引き続きリサ・パートナーズグループにおいて展開してまいります。

(2) 売却する相手先の名称

SBIアルヒ株式会社

(3) 売却の時期

2026年7月1日（予定）

(4) 当該子会社の概要

- | | |
|--------|--------------|
| ① 名称 | リサRT債権回収株式会社 |
| ② 事業内容 | サービス |

(5) 売却する株式の数、売却後の持分比率及び売却価額

- | | |
|------------|--|
| ① 売却する株式の数 | 10,000株 |
| ② 売却後の持分比率 | -% |
| ③ 売却価額 | 370百万円を基礎として、純有利子負債及び運転資本の調整等を経て確定いたします。 |

(6) 連結財務諸表への影響

本株式譲渡による当社の2027年3月期の連結財務諸表への影響は、精査中です。

3. その他

(1) セグメント別の状況

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
リース事業	170,550	154,515	16,034	3,971	12,063	8,646	3,417
ファイナンス事業	5,896	0	5,895	2,119	3,775	1,527	2,248
インベストメント事業	10,362	3,992	6,369	1,271	5,098	2,848	2,249
その他の事業	2,815	1,315	1,500	181	1,318	1,195	123
調整	△86	△14	△71	—	△71	1,560	△1,632
合計	189,538	159,809	29,729	7,544	22,184	15,778	6,405

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
リース事業	178,459	160,135	18,324	4,979	13,344	8,490	4,853
ファイナンス事業	6,015	137	5,878	2,476	3,402	2,327	1,074
インベストメント事業	14,409	6,528	7,880	1,717	6,162	3,960	2,202
その他の事業	8,174	5,447	2,726	378	2,348	1,692	655
調整	△82	△22	△60	—	△60	1,621	△1,682
合計	206,976	172,227	34,748	9,552	25,196	18,092	7,103

(注) 1. セグメントの区分は、主な営業取引の種類により区分しております。

2. 各セグメントの主要品目は以下のとおりであります。

①リース事業

情報通信機器、事務用機器及びその他各種設備機器等のリース・レンタル・割賦販売
リースに関連する物品売買、満了・中途解約に伴う物件売却及びリース機器の保守サービス等

②ファイナンス事業

金銭の貸付、ファクタリング及び配当収益の収受を目的とする有価証券投資等

③インベストメント事業

有価証券の売却益の収受を目的とするベンチャー企業向け投資等

株式会社リサ・パートナーズが行っているアセット、不動産及びアドバイザリーの各ビジネス

④その他の事業

賃貸レジデンス・ヘルスケアウェアハウジング事業、再生可能エネルギー発電・売電事業、PFI・PPP事業、観光事業及びその他各種サービス等

(2) 営業資産残高

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間 (2024年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (2025年12月31日)		増減	(参考) 前連結会計年度 (2025年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)
リース事業	582,707	58.8	628,358	56.0	45,650	615,385	58.8
ファイナンス事業	227,320	22.9	236,133	21.0	8,813	231,537	22.1
インベストメント事業	147,985	14.9	196,490	17.5	48,504	152,038	14.5
その他の事業	33,593	3.4	61,494	5.5	27,901	48,087	4.6
合計	991,607	100.0	1,122,476	100.0	130,869	1,047,048	100.0

(注) 当第3四半期連結会計期間におけるインベストメント事業の営業資産残高の内訳は、営業貸付金が39,853百万円、買取債権が36,057百万円、営業投資有価証券が30,961百万円、販売用不動産が19,603百万円、賃貸資産が33,043百万円、投資有価証券が36,970百万円となっております。